



# NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

# MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

**会員総数**……………854人  
**医師**……………168人  
**コメディカル**……………686人  
**【管理栄養士紹介登録数 49人】**  
 平成23年3月20日現在

### 《目次》

- ◆「東北地方太平洋沖地震」に寄せて 和田幹子先生 ……………Page 1
- ◆研究会等の実施報告……………Page 2-3
- ◆研究会他のお知らせ……………Page 4

「東北地方太平洋沖地震」において、被害に遭われた皆さま、また被災地の縁の方々にお見舞いを申し上げます。あらためて、被災地においては一日も早い復旧と、皆さまのご無事を、心よりお祈り申し上げます。

当会評議員 けいゆう病院 和田 幹子

3月11日の午後、私は4階にある院内の会議で司会をしていました。突然の揺れにちょっと動揺したものの、すぐおさまるだろうと会議を続けていたところ、まさかの震度5！エレベーターが止まり、渡り廊下が崩壊して地震の大きさを物語っていました。

その日は、交通機関がストップしてしまったために、多くの糖尿病患者さんが帰宅困難となりました。なかには、長い距離を長時間歩いたために低血糖を起こした患者さんがいたようです。この時患者さんは、たまたまブドウ糖を持参していなかったため、補食の調達のためにコンビニエンスストアに寄ろうとしたところ、閉店していたり商品が殆どなかったり…とても困ったとのことでした。

避難所でも食事には特に苦慮するようです。被災直後は食事が届かないために低血糖が心配ですが、しばらくすると糖質中心の食事が過剰に届くことが多く、食事制限のために残したいと思っても、気兼ねがあつたりゴミを出すことが憚られたり…血糖コントロールが難しくなります。インスリンを使っている方で、食事のタイミングがわからない時や、余震が頻繁に続く時などは、食べた量に合わせて食直後に打つ方が低血糖の心配は軽減されるようです。また、トイレが不便なために水分を制限して脱水をおこすことがないように注意が必要です。医療チームの連携がある避難所にいる場合は、医師や看護師に薬の内容や病状を伝えておくことと安心ですね。日本糖尿病学会が、被災地でインスリン入手が困難となっている患者さんのために①相談対応可能な医療者一覧表②メーカーの相談対応窓口一覧表③被災地で診療中の医療機関リストをホームページ上で公開しています。

被災地の方々のことを思うと、今この場所でできる限りの活動を続けなくては…と考えております。基本的なことですが、日々の外来で、薬を1～2週間程度多めに備えておくことや、災害マニュアル（メーカーのものですが…）を渡して、薬等のチェックリストを活用するよう、この機会だからこそ伝えていきたいと思ひます。



災害マニュアル提供：  
 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社  
 日本ベクソン・ディッキンソン株式会社

## 研究会等の実施報告

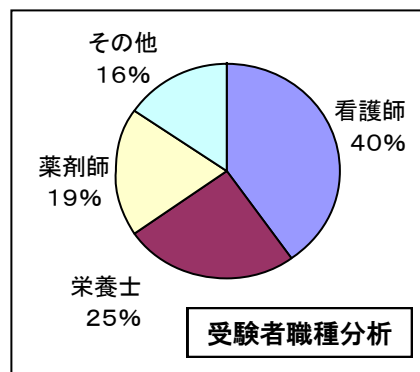
### 第11回 西東京糖尿病療養指導士認定試験

平成23年2月20日[日]亜細亜大学にて実施されました。

平成23年2月20日（日）亜細亜大学において昨年9月から12月に開講された「西東京療養指導士養成講座」を修了した129人の受験者が熱心に試験問題に取り組みました。

単位：人

看護師	栄養士	薬剤師	その他	合計
52	32	25	20	129



### 第8回西東京インスリン治療研究会

平成23年2月12日[土]ザ・クレストホテル立川にて開催されました。

第8回西東京インスリン治療研究会は「強化インスリン療法&カーボカウンティング」をテーマに、2月12日（土）、ザ・クレストホテル立川にて開催されました。

一般演題にて東京医科大学八王子医療センター 植木彬夫先生、多摩センタークリニック みらい 宮川高一先生 座長のもと、以下2題の講演が行われました。

演題1：「当科における入院でのCGM検査」という演題で、東京医科大学八王子医療センター松下隆哉先生より、当院での入院症例でのCGM検査例5例を中心にまとめられ、CGMの有用性についてお話をいただきました。

演題2：「外来におけるCGM検査」という演題で、多摩センタークリニックみらい 中島千雄先生より、外来診療でのCGM実施例5例を示していただきました。今後の外来CGM活用についてお話をいただきました。

特別講演は杏林大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 教授 石田均先生 座長のもと、以下2題の講演が行われました。

特別講演Ⅰ：「食品交換表に基づく新たなカーボカウント指導演法」という演題で、大阪大学医学部附属病院 内分泌・代謝内科 黒田暁生先生より、施設でのカーボカウント指導演法について、ご自身の（1型糖尿病）経験を踏まえ分かりやすくお話いただきました。

特別講演Ⅱ：「2型糖尿病治療における強化インスリン療法の実際」という演題で、JR東京総合病院 糖尿病・内分泌内科 山下滋雄先生より施設での強化インスリン療法の実際。他のインスリン療法との比較・メリット&デメリット等を詳細にお話いただきました。

参加者は医師36名、コメディカル70名、計106名のご出席をいただき、盛況の中無事閉会いたしました。

次回は、1年後の2012年2月18日（土）、「CSII&CGM」をテーマに開催予定です。実践に即したすぐに役立つ情報をお届けすることを目指し次回も多数の医師およびコメディカルの先生のご参加をお待ちしております。



## 第55回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する 診療連携の会

平成23年1月17日[月]多摩北部医療センターにて開催されました。

1月17日に多摩北部医療センターにおいて「第55回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する診療連携の会」が開催されました。今回の当番世話人は多摩北部医療センター・内分泌・代謝内科・藤田寛子先生がご担当されました。

一演題目は、内分泌・代謝内科・黒川三知子先生より「大腿部痛が受診動機となった、化膿性筋膜炎の合併を認めた糖尿病の1例」との演題でご講演頂きました。糖尿病とその合併症も含めた治療方法、留意すべき点等について、実際にあった症例を交えながら、症例検討を行いました。

二演題目は、看護師・丹野恵子様より、「フットケア外来」との演題でご講演頂きました。糖尿病患者さんの足病変に対しての実践的な介入方法を発表して頂きました。

また、各演題において様々な職種から活発な意見交換が行われ、本会は盛況のうちに終了致しました。



この度名称を新たにし、再開いたしました。

## 第1回薬剤師糖尿病指導研究会

平成23年2月26日[土]国立市商工会議所さくらホールにて開催されました

当会理事 かの内科 菅野 一男

この会は一昨年まで薬剤師インスリン指導研究会という名称で、特に薬剤師がインスリン製剤の療養指導について勉強する場として実施されてきました。一昨年より新しい糖尿病治療薬が次々と発売され、その薬剤の正しい効果と適切な患者への療養指導を考えていくことが重要で、新たに薬剤師糖尿病指導研究会を実施する運びとなりました。当日は100人定員の会場に対して97名の参加でほぼ満席の状態での薬剤師の関心の深さが伺われました。

一般演題を薬剤師で当会理事の北里研究所病院井上岳先生に「インクレチン製剤服薬指導のポイント」というタイトルでインクレチン製剤がどのような作用機序かを詳細に説明いただき、特に注射製剤であるリラグルチドの投与に当たって注意すべき副作用と期待する効果について講演いただきました。



特別講演で当会理事長の公立昭和病院貴田岡正史先生に「インクレチン関連薬をめぐって」という演題でDPP-4阻害薬、GLP-1受容体作動薬発売以降、糖尿病治療の選択肢が広がったという反面、これまで想定していなかった低血糖や高血糖という副作用も報告されており、実際に投薬に携わっている薬剤師の服薬指導や副作用の聞き取りがますます重要になっていると講演され、フロアからも活発な質問があり盛況に終了しました。

## 研究会他のお知らせ

このたびの震災により被害を受けられた地域の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早い復興と皆様の健康を願うとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

また、諸般の事情により当研究会にて予定されていた研修会を中止せざるを得ない状況でございます。

会員の皆様にはご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解の程お願い申し上げます。

NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 理事長 貴田岡 正史

### <研修会中止のお知らせ>

会報第93号および当会ホームページにて開催のお知らせをしておりましたが、以下の研修会は中止とさせていただきます。会員の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、何卒ご了承下さい。

- ・3/19開催予定 第27回 東糖協多摩ブロック糖尿病教室・西東京糖尿病患者会連合特別講演会
- ・3/26開催予定 第9回西東京心理と医療研究会
- ・4/16開催予定 第11回TAMA生活習慣病フォーラム

## 事務局からのお知らせ

### <2011年度年会費お払い込みのお願い>

新年度分 2011年度年会費 の払込票を同封させていただきました。6月末日までに会費の払い込みをお願い申し上げます。当研究会の活動は皆様の会費により成り立っております。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。また、昨年度の会費をまだお納めいただいていない会員の方も若干名いらっしゃいますので該当される方はお早めにご入金ください。

(入金状況がご不明な場合は事務局までお問合せください。)

### <変更届出書のご提出について>

この度は「変更届出書」も同封させていただきました。ご住所や勤務先などご登録内容にご変更がございましたら必ずお早めに事務局までFAXにてご連絡ください。

(変更届出書は当会ホームページからもダウンロードできます。ぜひご利用下さい。)

当会ホームページURL : <http://www.nishitokyo-dm.net> )

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802号

TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> Email : [w\\_tokyo\\_dm\\_net@crest.ocn.ne.jp](mailto:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp)

